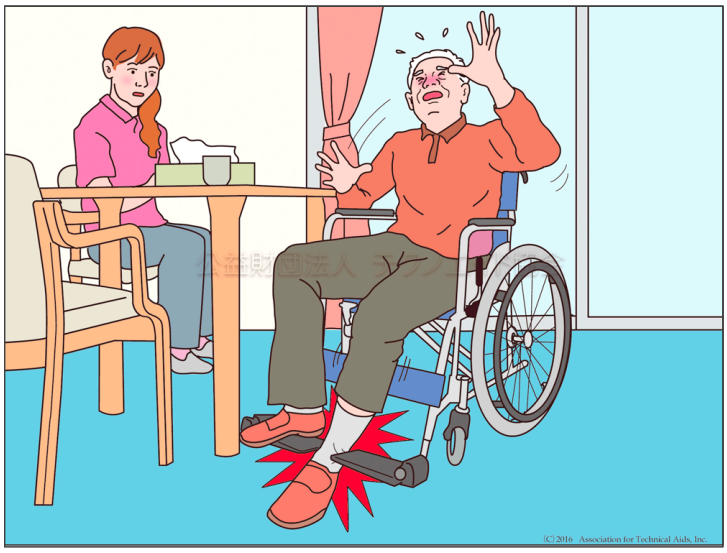
Case：323

左右のフットサポートの間に足首が挟まりケガをしそうになる

場面の説明

車いすで過ごしていた時に、左右のフットサポートの間に足首が挟まり、ケガをしそうになった



利用シーン	移動
主な利用場所	リビング・居間
介護保険の種目	車いす
分類コード (CCTA95)	122106 (後輪駆動式車いす)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

足首は筋肉や脂肪組織が少なく、傷になりやすい部分です。外出時には靴を履いているので落ちにくいですが、自宅内で靴下を履いている場合は滑って落ちやすくなります。下肢の麻痺や感覚障害、筋力低下のある人に起こりやすい事例です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：下肢の麻痺や筋力低下でうまく足の位置がフットサポート上に保持できなかった
人：靴下がフットサポート上で滑りやすかった
モノ：左右のフットサポートの間があり、足が落ち込みやすい構造だった
管理：介護者の注意が不足していた

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：323

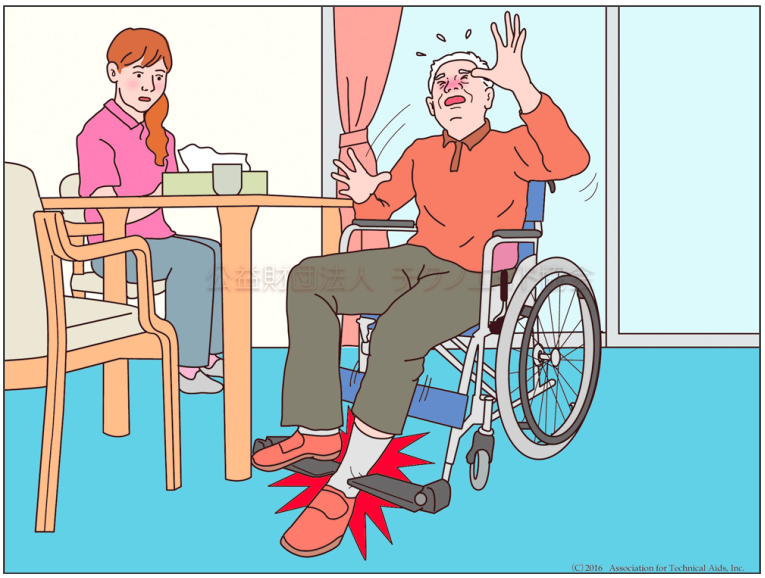
左右のフットサポートの間に足首が挟まりケガをしそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

車いすで過ごしていた時に、左右のフットサポートの間に足首が挟まり、ケガをしそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.